

《戦略ロードマップ》

【災害の教訓や防災を学ぶ交流拠点づくり】

【事業名】防災意識啓発の発信及び防災学習ツアー等の受入拠点施設

ターゲット：指定管理者、施設利用者及び市民、震災学習旅行者及び観光客

中長期将来像		・ 質の高い避難誘導体制が確立されている安全性の高い施設。 ・ 利用者が施設の役割を学ぶことのできる防災学習施設。 ・ 職員、または事務所に防災ガイドとの連携役としてコーディネーターが5人以上いる。 ・ 防災学習に向けた情報収集、整理がなされ職員等で共有化が図られ、ツアーメニューを提供できる。							
施策	だれが	項目	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	評価指標
非常配備体制の確立	職員	年度ごとの目標	・ 津波発生または津波発生の恐れのある場合に、非常配備体制（高台避難場所に避難誘導する体制）が確立される					・ 津波発生または津波発生の恐れのある場合に、非常配備体制（高台避難場所に避難誘導する体制）が確立される。	【最終】R3年度 マニュアル（初版）の完成 ○評価者：市、指定管理者
		やること	・ 指定管理者版津波避難誘導マニュアル作成 ・ 職員への周知徹底						
		実績	・ 避難マニュアル（初版）の作成 ・ 職員への周知						
防災意識啓発	職員 おはなしころりん	年度ごとの目標		・ 施設の役割の周知が図られ、職員がマニュアルに沿った安全な避難誘導等の対応を身につける	・ 施設の役割の周知が図られ、職員がマニュアルに沿った安全な避難誘導等の対応を身につける	・ 施設の役割の周知が図られ、避難誘導マニュアルに沿った職員の迅速かつ安全な避難誘導の実施(質の向上) ・ 参加団体数の拡大	・ 質の高い避難誘導等が全職員に身についている ・ 多くの人を巻き込み、施設の役割を広く理解させ、防災意識の向上を図る	・ より安全性の高い避難マニュアルが作成され、全職員が質の高い避難誘導等の対応が身につけている。 ・ 多くの人を巻き込むことによって、施設の役割が広く理解され、防災意識の向上が図られている。	【中間】R5年度 アンケート調査による <u>一時避難場所であることの認知度</u> （アンケートNo.2）80%以上 ○評価者：施設利用者 【最終】R7年度 避難訓練への参加団体数7団体以上 ○評価者：指定管理者
		やること		・ 防災訓練実施（周辺施設、市民、施設利用者等の巻き込み） ・ 避難誘導マニュアルの見直し	・ 防災訓練実施（周辺施設、市民、施設利用者等の巻き込み） ・ 避難誘導マニュアルの見直し	・ 避難訓練実施に伴う周辺施設、市民、施設利用者等への情報提供の徹底 ・ 避難誘導マニュアルの見直し ・ 新聞社への取材要請の徹底	・ 避難訓練実施に伴う周辺施設、市民、施設利用者等への情報提供の徹底 ・ 避難誘導マニュアルの見直し ・ 施設の役割周知		
		実績		・ 避難マニュアル（初版）に基づいた避難訓練の実施 【評価指標】 ・ 一時避難場所の認知度：69%	・ 避難マニュアル（初版）に基づいた避難訓練の実施 【評価指標】 ・ 一時避難場所の認知度：65% ・ 避難訓練参加団体数：4団体	・ 避難マニュアルに基づいた避難訓練の実施(参加団体数：6団体) ⇒東海新報社取材 マニュアル改定なし 【評価指標】役割の認知度：65%	・ 避難マニュアルに基づいた避難訓練の実施(参加団体数：7団体) ・ マニュアル改定なし 【評価指標】役割の認知度：82%		
情報発信手法の確立	職員 おはなしころりん	年度ごとの目標			・ 施設の役割の周知が図られ、利用者の防災意識がを高める			・ より多くの人に施設の役割を浸透させ、防災意識の向上を図る	【中間】R5年度 アンケート調査による <u>一時避難場所であることの認知度</u> （アンケートNo.2）及び <u>満足度</u> （アンケートNo.8）80%以上 ○評価者：施設利用者 【最終】R7年度 市民をはじめ、より多くの人に施設の役割が浸透し、防災意識の向上が図られている。
		やること	・ 施設内への貼付及びHP等による役割の情報発信（更新頻度を高める）	・ 施設内への貼付及びHP等による役割の情報発信（更新頻度を高める）	・ HPを100回更新する	・ HPを120回更新する	・ 発信する情報の質の向上(HPを180回更新) ・ 施設の役割周知		
		実績	・ 施設内への貼紙及びホームページへの役割等の情報掲載 ・ HP更新81回	・ 施設内への貼紙及びホームページへの役割等の情報掲載 ・ HP更新97回 【評価指標】 ・ 一時避難場所の認知度：69% ・ 満足度：79%	・ 施設内への貼紙及びホームページへの役割等の情報掲載 ・ HP更新111回 【評価指標】 ・ 一時避難場所の認知度：65% ・ 満足度：79%	・ 施設内への貼紙及びホームページへの役割等の情報掲載 ・ HP更新158回 【評価指標】 ・ 一時避難場所の認知度：65% ・ 満足度：81%	・ 施設内への貼紙及びホームページへの役割等の情報掲載 ・ HP更新256回 ※貸館情報除く 【評価指標】 ・ 一時避難場所の認知度：82% ・ 満足度83%		
伝承活動	職員 おはなしころりん	年度ごとの目標			・ 利用者の防災意識の向上とあわせ、震災の風化防止を図る	・ 防災学習ネットワークの周知拡大を図りながら、利用者の防災意識の向上とあわせ、震災の風化防止を図る	施設が防災を学ぶ場所として認識され、定期的な展示やイベント・訓練の実施により、利用者の防災意識の向上と合わせ、風化の防止が図られる	・ 施設が防災を学ぶ場所として認識されるとともに、定期的な展示やイベント・訓練の実施により、利用者の防災意識の向上と合わせ、風化の防止が図られる。	【中間】R5年度 展示：年間15回以上実施 イベント：年間4回以上実施 訓練：年間1回以上実施 ○評価者：市、指定管理者 【最終】R7年度 施設が防災を学ぶ場所として認識されるとともに、定期的な展示やイベント・訓練の実施により、利用者の防災意識の向上と合わせ、風化の防止が図られる ○評価者：市、指定管理者
		やること	・ 防災に係る展示（津波被災状況写真展、震災・復興・防災に関する書籍の供覧） ・ 防災・減災学習の受入	・ 防災に係る展示（津波被災状況写真展、震災・復興・防災に関する書籍の供覧） ・ 防災・減災学習の受入	・ 避難訓練年間1回以上実施 ・ 展示年15回以上実施 ・ イベント年間4回以上実施	・ 展示活動の継続 ・ 防災学習ネットワークの周知を図るため、防災管理室との連携強化 ・ 防災ウィークの実施、内容の見直し	・ 防災に係る展示の継続 ・ 防災及び防火訓練の継続 ・ 防災イベントの継続		
		実績	【評価指標】 ・ 展示17回 ・ イベント1回 ・ 避難訓練1回	【評価指標】 ・ 展示21回 ・ イベント1回 ・ 避難訓練1回	【評価指標】 ・ 展示13回 ・ イベント1回 ⇒防災ウィークの実施 ・ 避難訓練1回	【評価指標】 ・ 展示12回 ・ イベント1回 ⇒防災ウィークの実施 ・ 避難訓練1回	【評価指標】 ・ 展示14回 ・ イベント1回 ⇒防災ウィーク実施(3月実施) ・ 避難訓練1回		
		年度ごとの目標	・ 利用者に対する受入体制が構築され、防災学習ツアーの受入基盤整備が図られる。			・ 防災学習における広域の受け入れ態勢の基盤整備を図る。	防災学習において、広域の受入態勢が構築される		【中間】R3年度 各施設の情報資料作成完了及び防災学習ツアー等受入整備完了

《戦略ロードマップ》

【災害の教訓や防災を学ぶ交流拠点づくり】

【事業名】防災意識啓発の発信及び防災学習ツアー等の受入拠点施設

ターゲット：指定管理者、施設利用者及び市民、震災学習旅行者及び観光客

中長期将来像		・ 質の高い避難誘導体制が確立されている安全性の高い施設。 ・ 利用者が施設の役割を学ぶことのできる防災学習施設。 ・ 職員、または事務所に防災ガイドとの連携役としてコーディネーターが5人以上いる。 ・ 防災学習に向けた情報収集、整理がなされ職員等で共有化が図られ、ツアーメニューを提供できる。							
施策	だれが	項目	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標	評価指標
遺構・伝承施設間連携	職員	やること	・ 核施設の情報収集（研修を兼ねる） ・ 連絡網等の作成	・ 防災学習ツアーの広域連携（つなみメモリアル等）	・ 防災学習ツアーの広域連携（つなみメモリアル等）	・ 防災学習ツアーの広域連携（つなみメモリアル等）	・ 津波メモリアル等との連携 ・ 防災学習ネットワークと連携した防災学習ツアーの企画	・ 防災学習において、広域の受入態勢が構築される。	大津波の記憶を次世代に伝える ○評価者：市、指定管理者
		実績		・ 各施設の情報資料設置 ・ 防災学習ツアー等受入	・ 東日本大震災津波伝承館等、各施設の 情報資料設置 ・ 防災学習ツアー等受入	・ 東日本大震災津波伝承館等、各施設の 情報資料設置 ・ 防災学習ツアー ※林野火災により中止	・ 防災プログラムの活用、東日本大震災津波伝承館等、各施設の 情報資料設置及び案内		【最終】R7年度 防災学習において、広域の受入態勢が構築される ○評価者：指定管理者
防災学習受入態勢整備	職員	年度ごとの目標			・ 防災学習施設等の情報整理がされている ・ 職員または事務所に防災ガイドとの連携役のコーディネーターが2人以上いる	・ 防災学習ツアーに係る各コンテンツの見直し及びブラッシュアップ ※市防災管理室と要協議	・ 利用者が希望するテーマに沿った施設の紹介や道案内が適切に行われている。	・ 利用者が希望するテーマに沿った施設の紹介や道案内が適切に行われている。 ・ 職員、または事務所に防災ガイドとの連携役としてコーディネーターが5人以上いる。	【中間】R5年度 ・ <u>2人以上</u> のコーディネーターの確立 ○評価者：指定管理者
		やること	・ 現地視察・確認等の職員研修の実施（津波伝承館、椿の里・大船渡ガイドの会等との連携）	・ 現地視察・確認等の職員研修の実施（津波伝承館、椿の里・大船渡ガイドの会等との連携）	・ 現地視察・確認等の職員研修の実施（津波伝承館、椿の里・大船渡ガイドの会等との連携）	・ 前年度実施のモニターツアー及びアンケート調査に伴う課題を活かした事業展開	・ 前年度実施のアンケート調査に伴う課題を活かした事業展開 ・ 現地視察等、職員研修等の実施		○評価者：指定管理者
		実績	・ 研修1回 ・ モニターツアー1回	・ 防災ウィーク等、職員の現地視察等、確認 ※新型コロナ流行のため、モニターツアーの実績なし	・ 防災ウィーク等、職員の現地視察等、確認 ・ モニターツアー1回	・ 防災ウィークの実施	・ 防災ウィークの実施 ・ 防災学習の問合せに対する案内(適宜)		【最終】R7年度 ・ <u>5人以上</u> のコーディネーターの確立 ○評価者：指定管理者